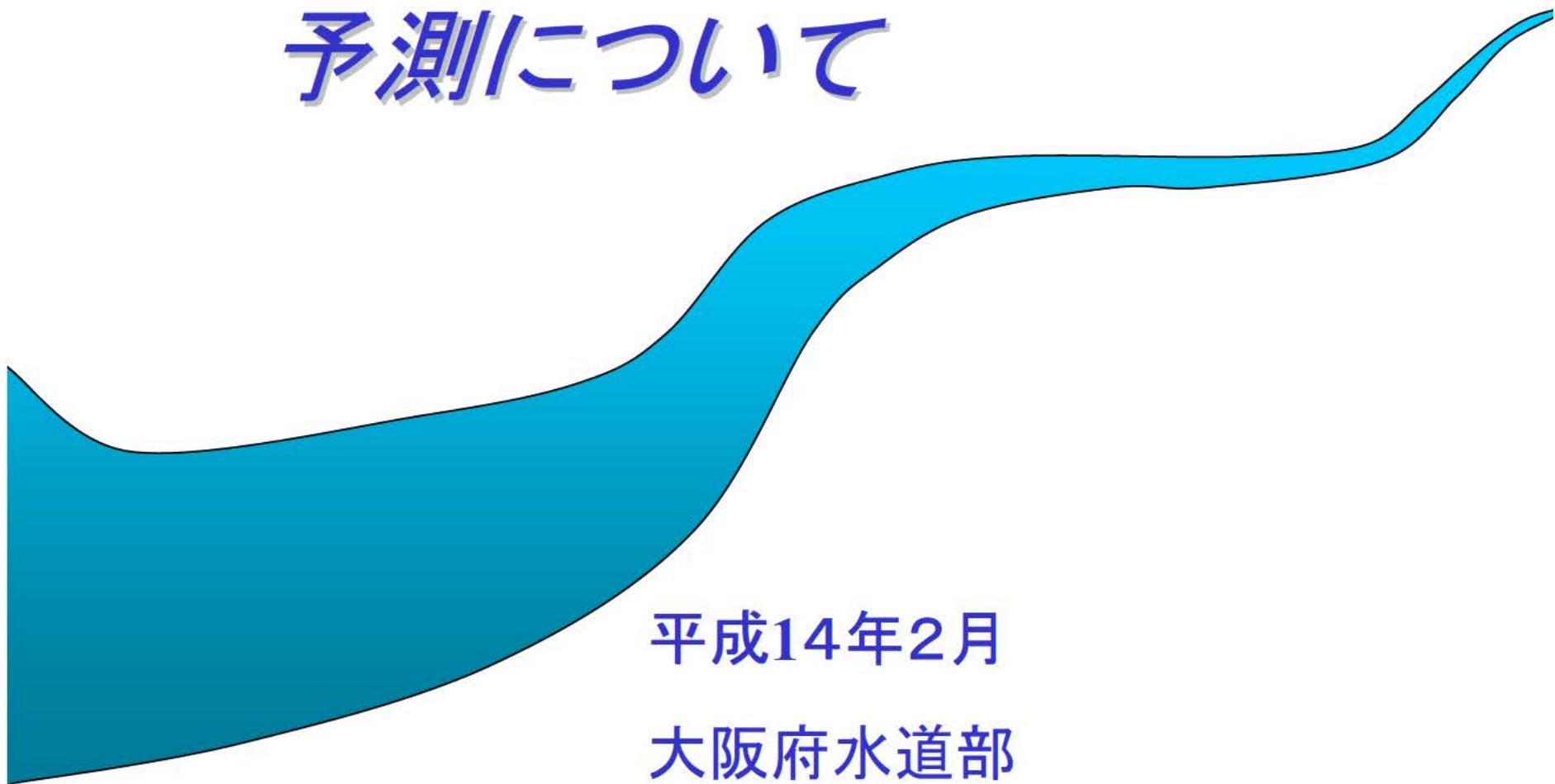


検討課題についての説明資料
(大阪府からの提供資料)

「大阪府営水道の水需要予測について」

大阪府営水道の水需要 予測について



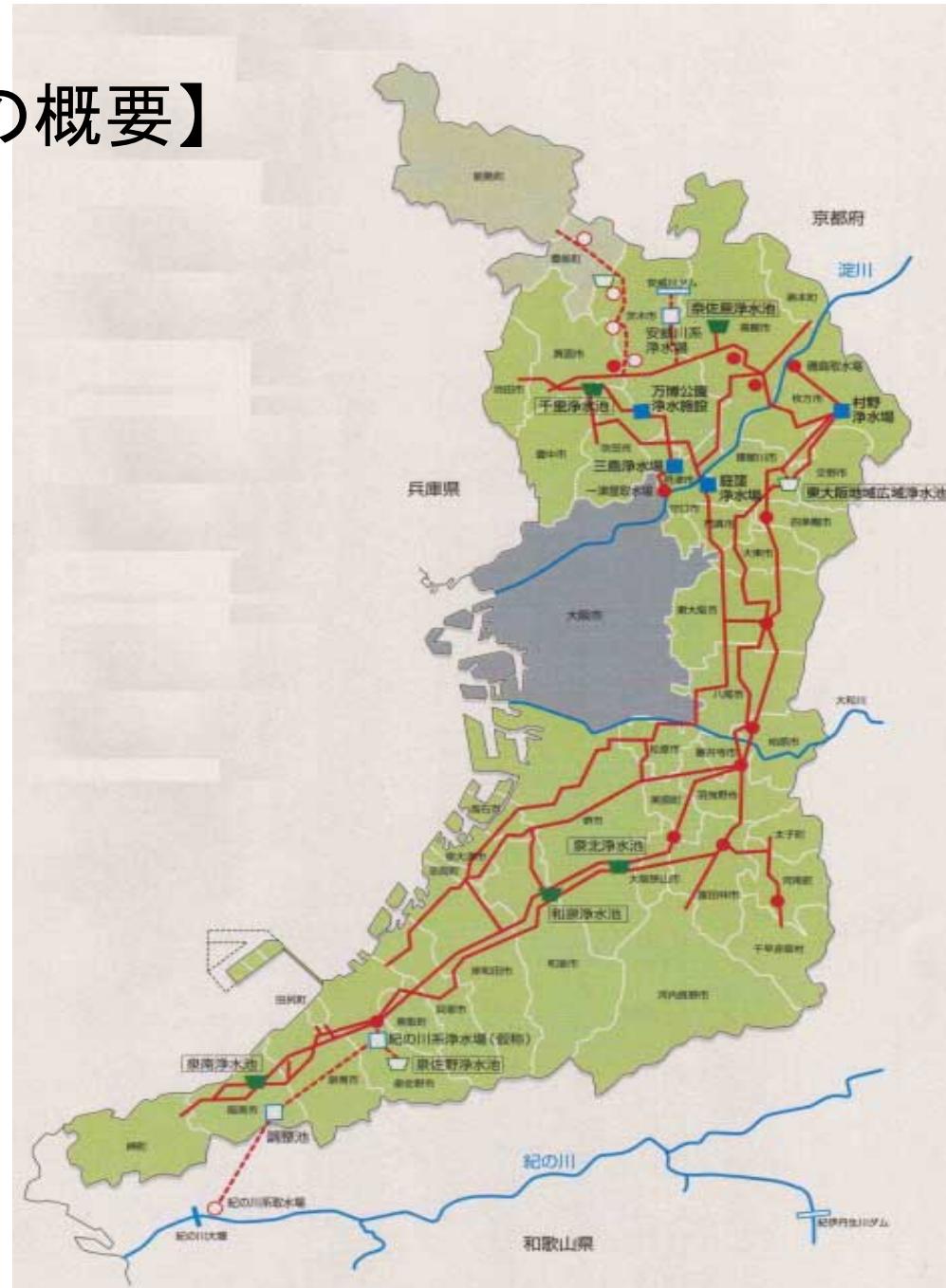
【大阪府営水道の概要】

事業計画概要

- 給水区域:府内32市10町1村
- 水源:淀川、紀の川、安威川
- 計画最大給水量…253万m³/日
 - 淀川系……………233万m³/日
 - 紀の川系…………13万m³/日
 - 安威川系…………7 m³/日

現在は淀川系の村野・庭窪・三島浄水場
3浄水場から送水

紀の川系・安威川系は未整備



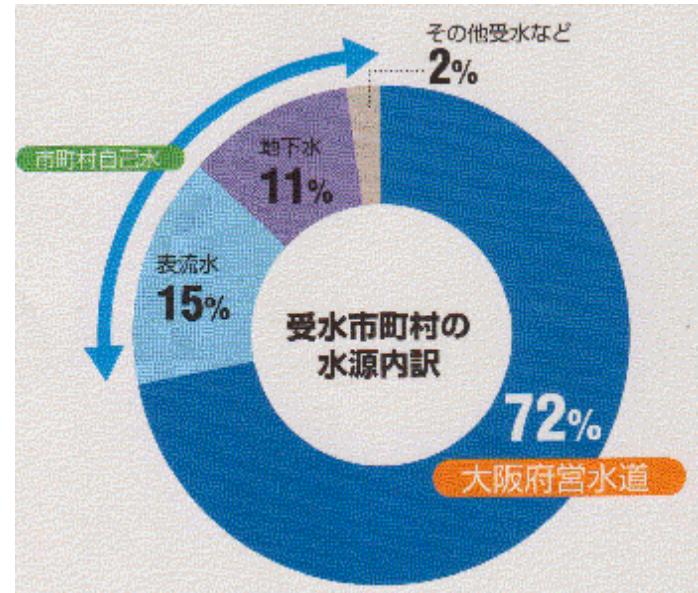
【給水の現状】

大阪府営水道は年間 約6億m³
(大阪ドーム 約500杯分)もの生活用水を
大阪市を除く府内のほぼ全域に送水している
「水の製造・卸問屋(水道用水供給事業体)」です。

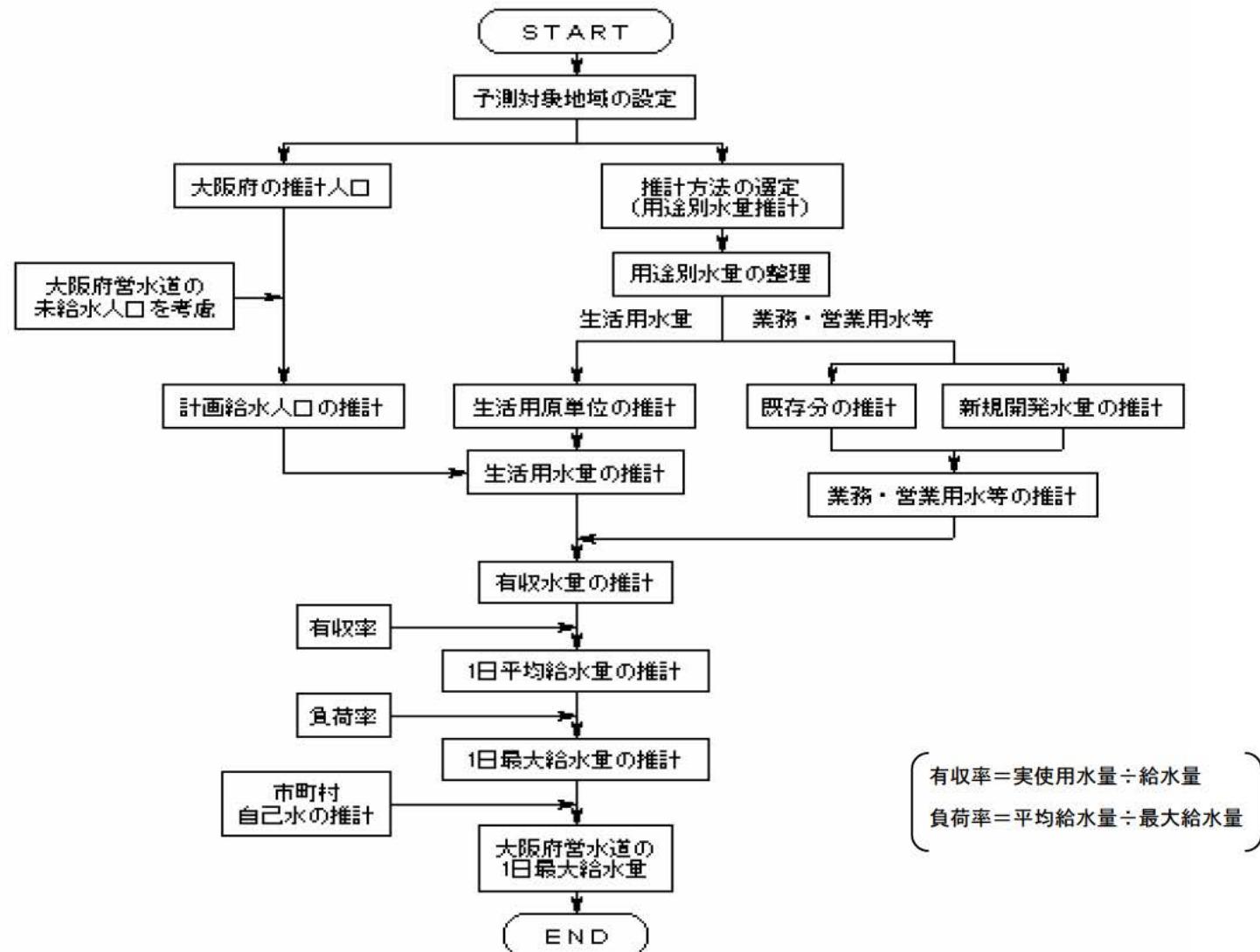


×500

各市町村の水道局(部)が府民の皆様にお届けしている
水道水の7割以上が府営水道の水です。

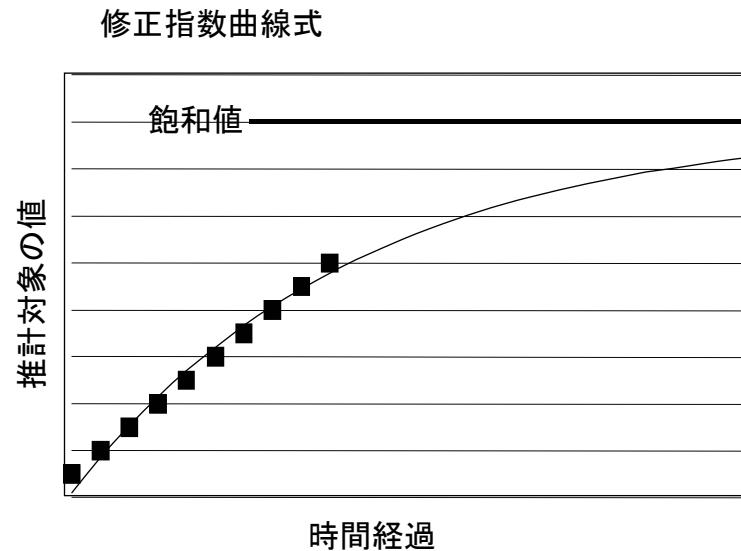


【水需要予測の手順】



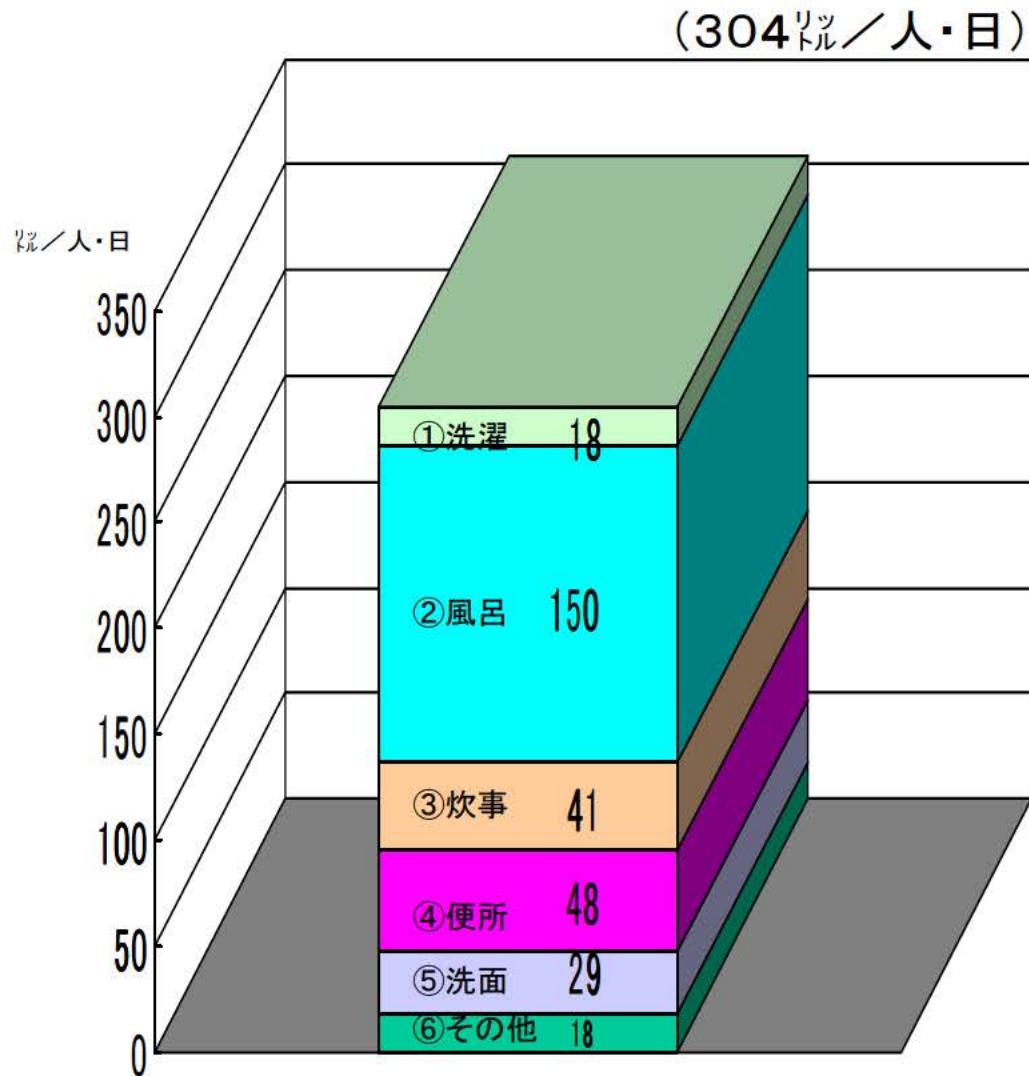
【生活原単位の推計】

- 生活原単位は時系列傾向分析法により推計
- 推計式は水道設計指針等から下記の5式により推計し、過去の実績に最も相関の高い修正指数曲線式を採用。
 - ① 平均増減数式
 - ② 平均増減率式
 - ③ 修正指数曲線式
 - ④ べき曲線式
 - ⑤ ロジスティック曲線式



- 修正指数曲線による推計に用いる飽和値は、水使用の用途別に水使用動向を推定して各用途別に積み上げて、「304㍑/人/日」と設定した。

【飽和値の設定】

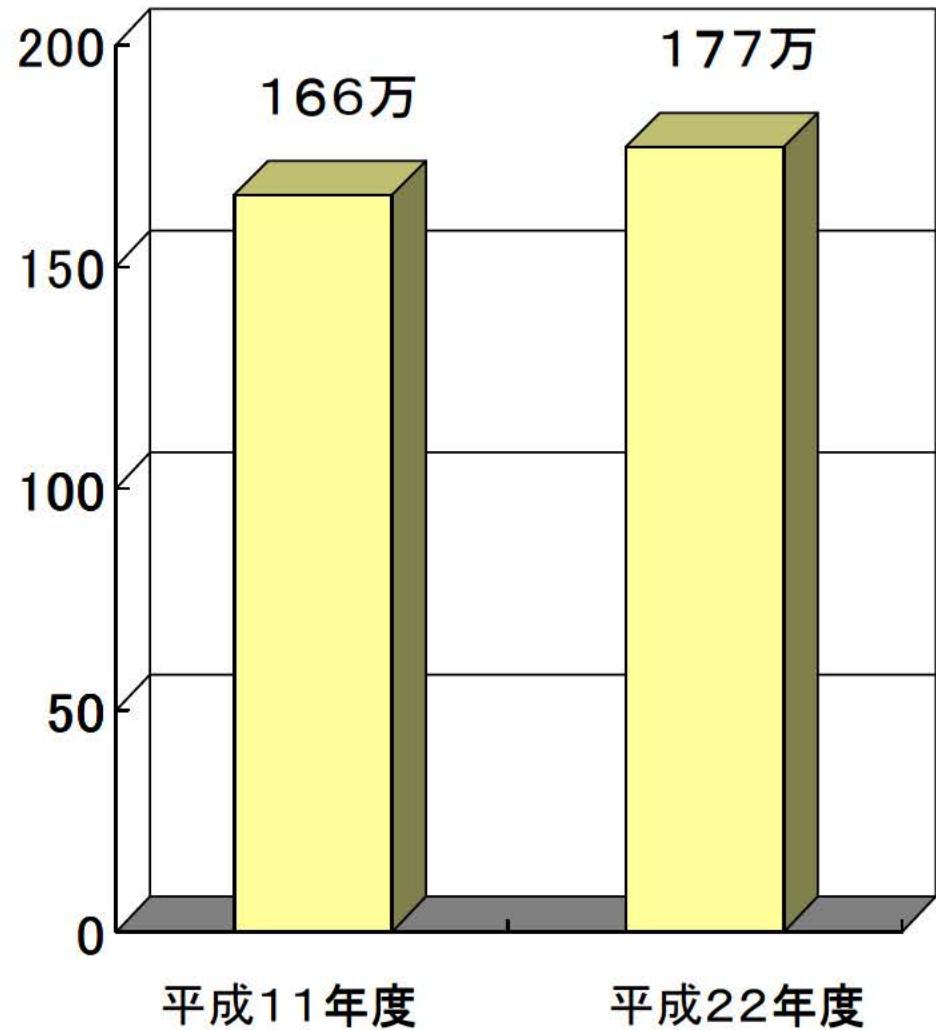


飽和値について

飽和値とは、遠い将来において、生活原単位が限りなくこの値に近づくが、推計上は、これを越えることのない値。

【生活用水の推計】

万立方メートル／日



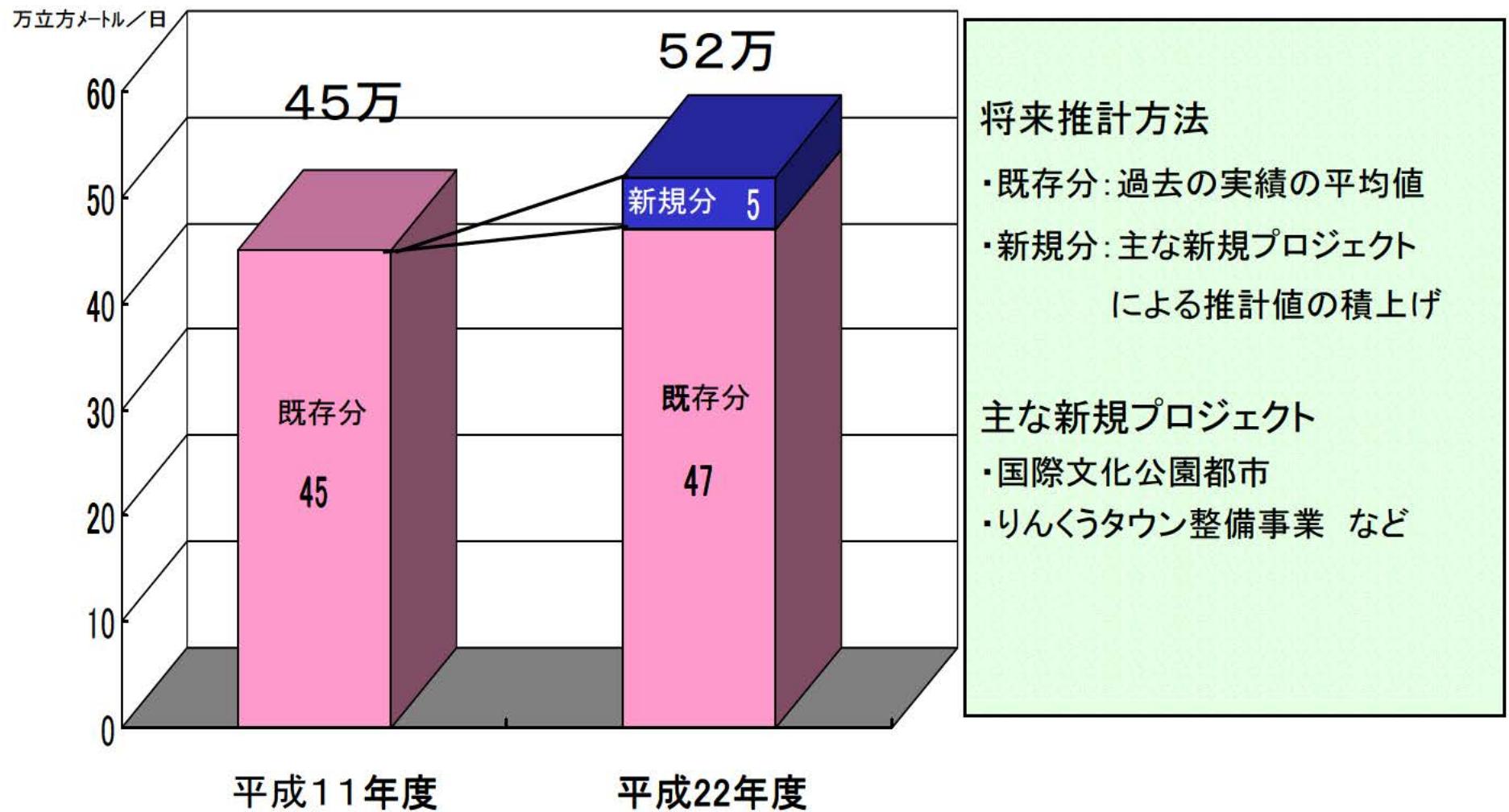
将来推計方法

- ・生活原単位 × 将来給水人口

主な増加要因

- ・世帯構成人員の減少
- ・水洗化率の向上
- ・給水人口の増加

【業務営業用水の推計】



【市町村の自己水の推計】

